

事前學習課目

4 搬送法



この科目の学習内容

- 1 搬送の原則と搬送上の留意事項
- 2 徒手搬送上の留意事項
- 3 ストレッチャー搬送上の留意事項

1 搬送の原則と搬送上の留意事項

(1) 搬送の原則

- ア 傷病者を搬送する前に、必要な応急手当を行う
- イ 傷病者に最も適した体位で搬送する
(傷病者の希望する体位が原則)
- ウ 動揺を極力防止する方法で安静に搬送する
- エ 搬送は、安全かつ確実にを行う

(2) 傷病者搬送の留意事項

- ア 搬送中も観察を継続して実施する
意識のある傷病者であれば、励ましの声をかけつつ様子を見る
- イ より安全、確実な方法を選択する
傷病者の状態、乗務員の数、搬送資器材の有無を考慮し、安全・確実な搬送法を選択する
- ウ 搬送用資器材を有効に活用する
徒手による搬送は、担架等が使用できない場合など、ごく短い距離の搬送に用いる
- エ 搬送する乗務員のケガに注意する
乗務員の数が少ないほど、負担は大きく特に持ち上げるときの腰のケガに注意する

2 徒手搬送上の留意事項

(1) 徒手搬送の種類と留意事項

徒手搬送とは、担架などの搬送用資器材を用いなくて、傷病者を搬送(移動)する方法

ア 一人で行う搬送

- (ア) 支持搬送
- (イ) 背負い搬送
- (ウ) 横抱きの搬送

イ 二人で行う搬送

- (ア) 前後から抱えて搬送する方法
- (イ) 左右から抱えて搬送する方法
- (ウ) 椅子を利用して搬送する方法

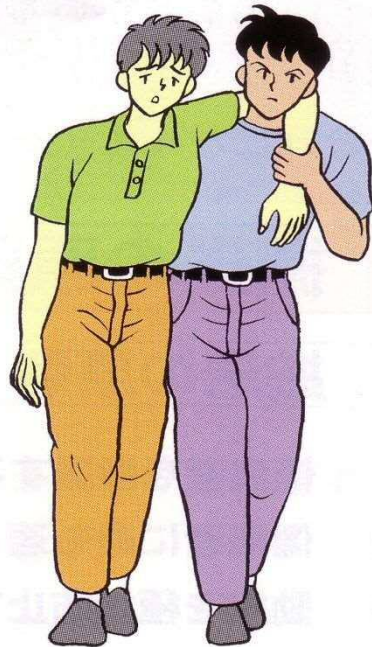
ア 一人で言う搬送

(ア) 支持搬送

支持する者が松葉づえの役割を果たす

※ 次の傷病者に不適なため用いない

- ・歩行困難な者
- ・頭痛、呼吸困難、胸部痛を訴えている者



(イ) 背負い搬送

傷病者を背負って搬送する方法

※ 次の傷病者には不適なため用いない

- ・意識がない者
- ・骨折や内臓損傷がある者



(ウ) 横抱きの搬送

傷病者を抱き上げ搬送する方法

※ 主に小児以下や小柄な傷病者が対象となる



イ 二人で行う搬送

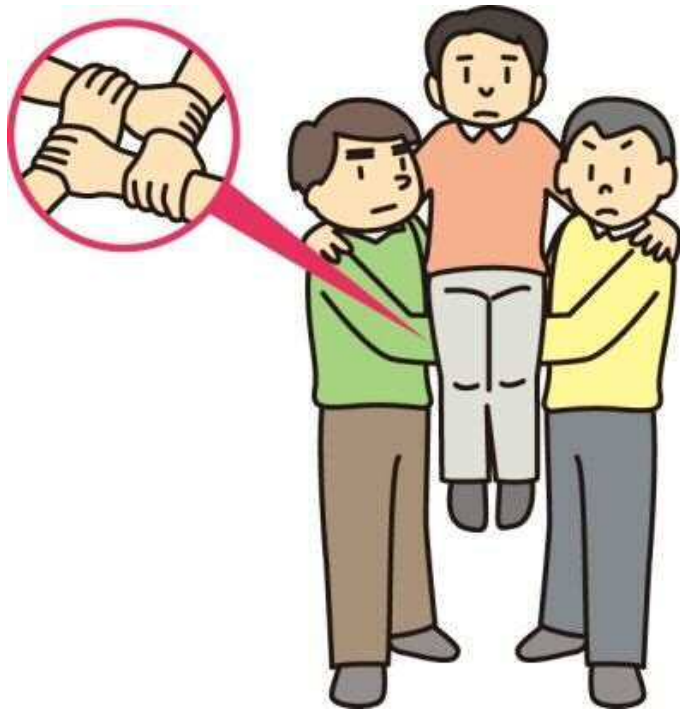
(ア) 前後から抱えて搬送する方法

傷病者の上半身を静かに起こし、一人は傷病者の背中から抱え、他の一人は下肢を交差して抱える。二人が同時に持ち上げて、足側から搬送する。



(イ) 左右から抱えて搬送する方法

傷病者の背中側にある腕で傷病者の背中を支える。
お互いの傷病者の足側にある手を握り、傷病者の膝
の後ろに通す。



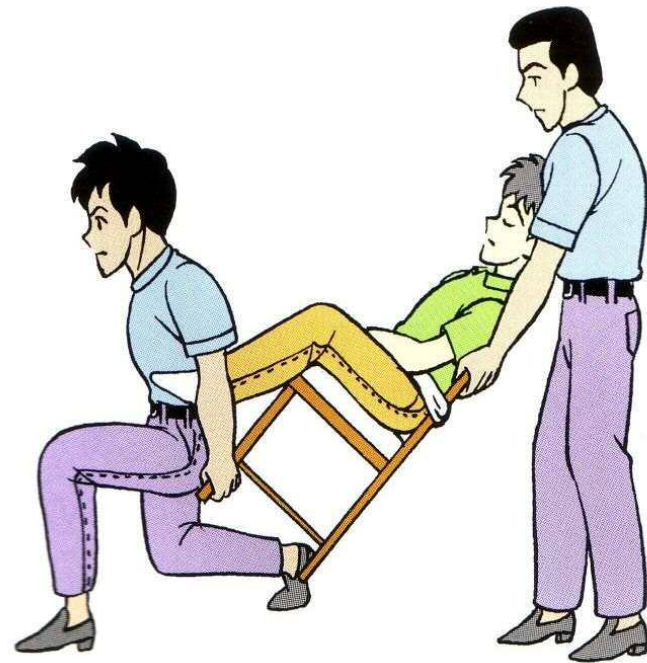
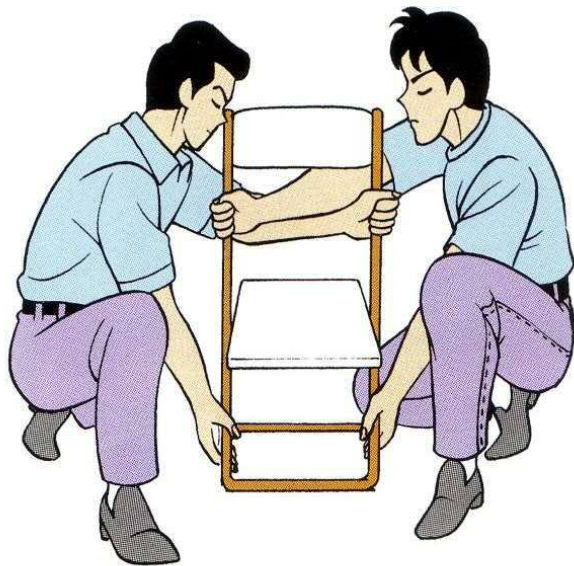
組手搬送



両手搬送

(ウ) 椅子を利用して搬送する方法

傷病者を三角巾や帯などで固定して搬送する。



2 ストレッチャー搬送上の留意事項

- 1 必ず固定用ベルトで傷病者の身体を固定し、安全棒(ガード)を確実にロックして傷病者の安全を確保する。
- 2 ストレッチャーを持ち上げる場合は、ストレッチャー全体が水平となるように持ち上げる。
- 3 車両への収容時及び車両から搬出時は細心の注意を払い、落下・転落防止に努める。



クリックして進めてね！

まとめ

1 搬送を行う上での原則とはなんですか？

- (1) 傷病者を搬送する前に、必要な応急手当を行う
- (2) 傷病者に最も適した体位で搬送する(傷病者の希望する体位)
- (3) 動揺を極力防止する方法で安静に搬送する
- (4) 搬送は、安全かつ確実にを行う

2 支持搬送に適さないのはどのような症状の傷病者ですか？

歩行困難、頭痛、呼吸困難、胸部痛を訴えている傷病者

3 傷病者を搬送する上での注意点は何か？

- (1) 搬送中も観察を継続する
- (2) より安全、確実な搬送方法を選択する
- (3) 搬送用資器材を有効に活用する
- (4) 搬送する乗務員のけがに注意する

4 ストレッチャーを使用して搬送する上での注意点は何か？

- (1) 必ず固定ベルトで傷病者の身体を固定する
- (2) ストレッチャーを持ち上げる場合は、ストレッチャーが全体に水平となるように持ち上げる
- (3) 車両への収容及び車両からの搬出時は細心の注意を払い、落下・転落防止に努める

以上で、学習のポイントを終了します。

理解できたかどうか、ミニテストで確認してください。

